



三重中央だより

当院の理念(Principle) ● いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。

新年のご挨拶



初夢：10年の後

三重中央医療センター 院長 霜坂辰一



あけましておめでとうございます。皆様には穏やかな1年のスタートを切られましたでしょうか。昨年は世界中が怒りや絶望や渴望で不安定な状態にありましたから、今年こそは少し落ち着いて、嬉しいことがたくさん起こってほしいと思います。せめて、未来に

向けて素敵な夢を見ることはできないでしょうか。

しばらく前に、「10年後に消えてなくなる仕事」、という論文が話題を呼びました。10-20年以内に今の職種の半分は、コンピューター付きの器械に取って代わられるそうです。考えてみれば、これはなにも今に始まったことではなく、鉄道の切符の改札をイメージするとよく分かります。中年以降の方なら記憶に残っていると思いますが、以前は国鉄（今のJR）などの鉄道改札口では切符を駅員さんが1枚1枚ハサミで切っていました。キセル（今は死語か？）も目でチェック。今はイコカ、スイカですいすい改札。人手もいらず、不正も瞬時に見抜きます。これで迅速、大量輸送が可能になったと言われています。イノベーションですね。同じように店員さんがいなくても（ウェイタレスは10年後に消える仕事に入っています）、回転寿司では食べたいものをタッチパネルで注文すれば、目の前に運ばれてきます。

さて、10年後に少子高齢化を迎えると、病院はどうなるか。受付に人はいません。受付パネルが

患者さんを迎えます。カード化された保険証でパネルにタッチ。来院した理由をパネルから選ぶ。初診であれば「症状」をパネルから選んでタッチ。センサーを1枚だけ体に貼り付けると体温、呼吸、血圧などの生体情報が記録されます（看護師さんが体温、脈拍、血圧を測ってくれる時代は終わりです）。次に、診察前に行うべき検査が示され、指示されます。採血室に行くと「採血ロボット」が待っていて、採血され、「はい、終わりました」と器械音声に言われて終了。診察室に戻ると、各種検査結果が分析されて診断がついています。医師は言う、「コンピューターがこう診断し、この治療を推奨していますから、それでいいましょう」。なにせ、コンピューターは過去に出版された膨大な医学書・医学雑誌を読破、分析、記憶しているので、人間の知識では太刀打ちできません。薬はあとでドローンが家まで空輸。帰りは病院玄関に自動運転のタクシーが来て、GPS機能付きのスマホをタッチすると、家まで無事送り届けてくれます（タクシー運転手は10年後に消える仕事に入っています）。

どうでしょう？すぐそこにある10年後の人気が少なくなった医療世界。さすがに、10年後にはまだ医師や看護師は消滅しないとその論文は書いていますが、医師、看護師がやることは医療コンピューターの管理かもしれません（管理されるのは人間の方？）。

当院は、ノスタルジックに、頑固に、人と人が温かくふれあう医療を最後まで大切に守っていきたいという夢を見続けます。

今年1年も皆様が穏やかな微笑みで過ごせますようにお祈り申し上げます。



年男年女



三重中央看護学校 教育主事 西 泉【1957年】

充実した毎日を

新年 あけまして おめでとうございます。
2017年の酉年の幕開けです。12年に1度しか来ない干支ですので、私にとって、「年女」の2017年は大変おめでたい年です。

12年前の48歳は何をしていたのでしょうか。その前の36歳は・・。12年の節目を遡っていくと、その頃の職場の事や、家族の様子が思い起こされます。国立津病院に看護師として採用されてから、職場の異動や転勤がありましたが、臨床の現場で19年、看護学校に16年勤務してきました。結婚して子育てをして両親を看取って、いろいろな事がありました。勤務場所が変われば向き合う対象は患者さまから看護学生になりました。今は、看護学校職員一丸となって看護教育に力を注いでいます。これまでどの職場においても充実して楽しく看護の仕事を続けることができたのも、暖かく支えていただいた周りの方々のおかげです。

最近は、若い頃に比べると、身体を気遣うことが増えてきました。無理をしないし、できなくなってきたことを実感します。人間ドックで引っかかる項目も増えてきて、食事や運動への関心も深まってきた。しかし、ほんの些細なことがありがたく、ちょっとしたことに幸せを感じることが増えました。若い頃には気づかなかった季節の移ろいを感じ、道端の自然の美しさに見とれ、足を止めることも度々です。これも年輪の賜物でしょうか。この1年も毎日を大切に充実した日々を送っていきたいです。

皆様にとっても良き1年となりますようお祈り申し上げます。



整形外科医師 長倉 剛【1969年】

酉の羽ばたき

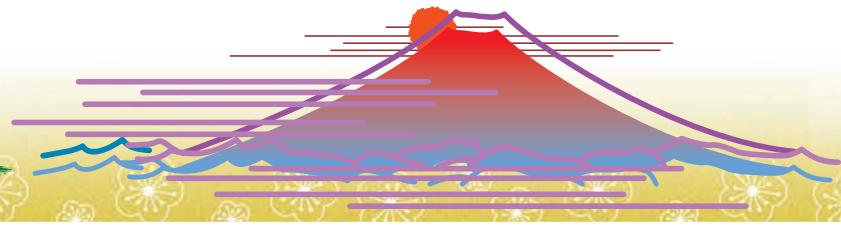
私は1969年、酉年生まれです。あまり干支は意識していないので2017年が酉年だという事を聞いてもピンとこなかったのですが、自分が年男だと聞いたとき、「ああそうか、もう48歳になるんだ。」と自分の年齢を改めて認識し、いつの間にか年を重ねてきたんだなあと感慨深くなりました。

1969年はアポロ11号が人類で初めて月面有人着陸に成功した年で、サザエさんや8時だヨ！全員集合などの人気のテレビの放送が開始になった年でもあるようです。ずいぶん昔の事ですが、現在でもそれぞれの分野でそれぞれの人の思いが受け継がれてきていているのかなと思います。また1969年に生まれた著名人は福山雅治、武豊、加藤浩次、槙原敬之、橋下徹などの方々で今も第一線で活躍しています。

彼らのような一流になるのは難しいことですが、同級生として負けていられないなど、新年を迎えたに気を引き締めて行きたいと思っております。

ニワトリは羽を持っているが飛ぶイメージはありません。しかし私の地元の神社ではニワトリが野生化して逞しく飛んでいました。酉年を迎えて私も飛べる酉になれるよう日々努力をし、今後とも地域の皆さんに喜んでもらえる、そして納得してもらえる医療を提供できるように邁進していきたいと思っています。本年もよろしくお願いいたします。

また当院では外科の湯浅先生、消化器内科の竹内先生も年男とのことで、協力して病院を盛り上げていきたいと思います。



庶務係長 正井 裕樹 【1981年】

12年前と今

あけましておめでとうございます。今年は酉年で、年男(36歳)ということでこのような機会をいただきましたので一言ご挨拶申し上げます。

私が就職したのが、ちょうど12年前の1月でした(この時も24歳で年男でした)。当時は就職難の時期で、大学を卒業しても就職ができず、しばらくニート状態の後何とか採用してもらったのを覚えてています。とりあえず就職することが目的で病院のことを何もわかっておらず、気概のなかつた私はスキルの高い上司や諸先輩方についていくことができず、苦労しました。

現在、私は職員の採用等人事事務を担当しています。三重中央医療センターの職員は、医療に対する熱意が強く、また常に患者様の立場になって物事を考えている方々ばかりです。当院に就職しようと採用試験を受験される方々もまた、「就職したら〇〇がしたい」「患者様に感謝される職員になりたい」と強い思いを持って来られます。就職後も日々勉強や技術の修練に取り組んでいる姿を見ていると、12年前の私が採用試験を受けても合格できそうにないなと感じてしまいました。

皆さまにとって素晴らしい病院するために、強い志を持った職員の支えとなれるよう、私も日々努力を惜しまず励んでいきたいと思っております。

本年がさらに良い年になるよう祈念いたしまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。



中島 佳奈 【1993年】

新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。

今年、年女となり一言ご挨拶申し上げます。

私は西4病棟の新生児集中治療室(NICU)に看護師として勤務しております。希望であった新生児の急性期の勤務に就くことができ、とても充実した日々を過ごせています。まだ2年目と未熟であり、ステップアップするために先輩方から手厚い指導をして頂き、担当をさせて頂く患者様も幅広くなってきました。自信をもって担当できる疾患が増えてきたこと、患者様のご家族から患者様の成長を喜ばれ笑顔がみれること、小さく生まれた患者様が長期の入院生活を経て退院ができたとき、日々喜びややりがいを感じています。

新生児は自分の思いを言葉にして訴えることができない分、こちらの観察が重要となります。そのため、新生児の思いを汲み取りよりよい看護ができるよう知識や観察力を身につけていきたいです。まだまだ不慣れで未熟ですが先輩方のような看護師に近づけるようにこれからも精進していきたいと思います。



肝臓・消化器
内科医長 竹内圭介

肝臓病はウイルス性肝炎が主体でした。特にC型肝炎は肝硬変、肝癌との関連が強く、現在でも肝硬変の原因の約6割、肝癌の原因の約7割を占めています。年間約3万人の方が肝癌で亡くなられ、ウイルス性肝炎を治癒することが重要と考えられてきました。

当初、C型肝炎に対する抗ウイルス治療はインターフェロンが中心でした。治療薬の改良にもかかわらず、難治例では約50%の治癒率に止まり、また治療による発熱、倦怠感などの自覚症状や間質性肺炎、うつ病などの重篤な副作用があることも問題でした。2014年9月に直接作用型抗ウイルス薬（Direct Acting Antivirals: DAA）が発売

テーマ

三重中央医療センターの 名医シリーズ

④

1998年から
肝臓を専門領域として診療
してきました

が、当時から

され、治療効果が格段に進歩しました。12週間の治療期間で90%以上の患者さんがウイルスの排除に成功しています。副作用も軽微であり、今後の治療の中心となるものと考えられます。

B型肝炎では2010年から抗ウイルス剤の使用が可能となり、肝炎の進行を制御できるようになってきました。ただし、ウイルスの排除が困難であることが課題でした。B型肝炎は成人後の感染によるキャリア化はまれであり、生下時から乳幼児期の感染を予防することが重要です。1986年から母子感染予防処置を行われるようになり、効果を得てきました。これに加え2016年10月からはB型肝炎ワクチンの定期接種の実施が開始され、さらに新たな感染が予防されるものと期待されます。

2016年5月に世界保健機関（WHO）は2030年までにウイルス性肝炎を撲滅する、との歴史的な声明を表明しました。肝臓専門医として日々の臨床でこのような場面を実感できることをとても感

慨深く感じています。

肝炎ウイルスの撲滅後、本来の肝臓の機能に関連した疾患が主体となると思われます。栄養の代謝は重要な機能であり、糖代謝、脂質代謝に肝臓は深く関わっています。生活習慣病の増加に伴い、健診で見つかる脂肪肝、肝機能異常の頻度は年々増加しています。以前はあまり問題とされなかつた脂肪肝ですが、最近の研究で脂肪肝の一部が肝炎に移行し、肝硬変に至り、肝癌の原因となることが報告されています。非アルコール性脂肪肝炎(Non-alcoholic steatohepatitis: NASH)と言われる疾患であり、今後の患者数増加が懸念されています。また、アルコール性肝疾患も引き続き重



要な課題となっています。

医療は日々目覚ましく進歩しており、要求される医療レベルを維持するために医師の努力は欠かせません。ただし当然、個人で出来ることにも限りがあります。

ます。これからも信頼しうる消化器内科スタッフの助けを借りて、この地域の医療に貢献できるよう努めています。

また、診察・治療に加え、慢性疾患では患者さんが病気に対する知識を深めていくことも重要と考え、当科では2ヶ月に一度、肝臓病教室を院内で開催しています。内科外来に講演内容などの案内を掲示していますので、お気軽にご参加下さい。

推薦文

地域に根ざした医療を目指して

内視鏡センター診療部長 渡邊 典子

当院は三重県中勢地区の中核病院としての役割を担っています。

その中で、消化器内科は多数例の急性・慢性消化器疾患および消化器がんの診断と治療に取り組んでいます。

消化器内科では、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸などの消化管および肝臓、胆嚢・胆管、膵臓といった実質臓器の疾患の診断と治療を行い、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会、日本超音波医学会などの認定指導施設に指定されています。

消化器内科には、現在、5名の常勤医師と2名の非常勤医師が在籍しています。その中で、唯一の肝臓専門医として、肝疾患の診断、治療に邁進していただいているのが竹内圭介先生です。

院外、院内問わず、多くの肝疾患に対処していただき、また、肝臓病教室、公開講座など、地域住民の方々への啓蒙活動にも尽力していただいている。

冷静沈着、黙々と仕事をこなしている姿、また、消化器内科のリーダーとしての姿、後輩医師よりの頼れる存在などなど、シャア・アズナブルに通ずるところがあるのでしょうか？

消化器疾患は、高血圧症を含む心血管系疾患、精神神経系疾患と共に我が国の主要な疾患です。今後も地域の中核病院としての役割を担っていくために、今後もしなやかなリーダーシップを發揮してくれる期待しています。



消化器内科 **北出 卓**

消化器内視鏡において、日本は世界的にもトップレベルであります。それは、日本人の器用で繊細な観察力と技術力によって支えられています。来年から小腸内視鏡が当センターでも実施可能となります。小腸疾患は、非常に珍しく、小腸内視鏡がないと診断不可能なものも存在します。小腸疾患以外においても、通常内視鏡が挿入困難な患者さんの大腸検査や過去に胃腸の手術歴がある患者さんの胆膵検査などに、流用することが可能です。

消化器内科 **倉田 一成**

2015年から当院に勤務しています。赴任して2年近くになりますが、消化器内科の一番下として日々精進しながら頑張らせていただいています。

一番下であり、本当に上級医の先生方に見守られながら診療をこなしていますが、少しずつ成長させていただいています。今後とも消化器内科の一員として精進していきます。よろしくお願いします。

消化器内科 **田口由紀子**

月曜日に内視鏡検査、水曜日に初診、木曜日に再診をしています。

主な担当は胃、大腸疾患ですが、大学ではヘリコバクター・ピロリの研究をしていました。内視鏡検査は決して楽とは言えませんが、皆様、胃検診は受けて下さいね。

消化器内科 **子日 克宣**

研修医時代から三重中央医療センターにて勤務しています消化器科子日です。様々なみなさまの温かいご指導のもと、医療に励んでおります。

現在は胃癌、大腸癌等内視鏡を用いた検査、治療を中心にいろいろ行っています。

2017年1月より外来、検査のみの診療となっていますが、これからも地域の方々のお役になれるよう日々、がんばります。

我が故郷

津・久居



脳神経外科・神経内科病棟
浦辺 菜華

私は久居で生まれ育ち、就職するまでの間は地元で過ごしました。久居駅裏に国立津病院がある頃からお世話になつており、新しく移転し三重中央医療センターになつてからも、手術や入院等経験しその時お世話になりました。その際の看護師さんの優しさが今でも心に残つております。手術を控えた私の不安な心に寄り添つてくれた記憶があります。その時の記憶が看護師を目指すきっかけとなつた一つの要因でもあります。その時もらったた

優しさを自分がいつか返すことが出来たらと思っていました。一時地元を離れ、念願だつた看護師として就職しました。慣れな環境で働き始め不安なことも多く、地元を懐かしく思う日々もありましたが看護師として働き様々な経験をすることが出来ました。そして昨年の八月に五年ぶりに地元に戻つてきました。三重中央医療センターに就職して一年が過ぎました。新たな環境に身を置いて沢山の人との関わりを持ちながら病棟の一員として動けるようになつてきましたこの頃です。地元の身近な病院として地域の人たちから頼りにされている病院で自分がお世話になつた分の恩返しができ、少しでも役に立てればと思つています。



一緒に働く仲間達



輝くメディカルスタッフたち

医師、看護師以外でも、多くの専門性を持ったスタッフが当院院内で活動しています。その人と仕事にスポットを当てて紹介します。

CRC（臨床研究コーディネーター） 中尾 貴子

病院には様々な職種がそれぞれの専門性を活かして働いています。臨床研究コーディネーターもその中の1つで、CRC（Clinical Research Coordinator）と呼ばれています。CRCは治験（臨床試験）を適正かつ円滑に遂行するための臨床研究専門職で、主に看護師や薬剤師が活躍しています。

治験とは、国から薬として認めてもらうために行われる試験のことをいいます。

当院でも平成17年に治験管理室が設立され、それまで看護師として勤務していた私が治験管理室へ配属され、突然CRCになりました。何

もわからないところからの出発でしたが、周りの人に支えていただきながら、今では認定CRCとして頑張っています。

私たちCRCは、いつも治験患者様のそばでサポートするのが仕事です。診察や治療、検査に立ち会い些細な疑問にもご理解いただけるように説明します。そして、患者様の一番身近な存在として安心して治験に参加出来るようにケアすることを心がけながら、治験を経て世に出て新薬が、多くの人々を救うことを願って仕事に取り組んでいます。



「里山こころの便りー榎原の窓から」

第7話 ギャンブル依存症について

最近の調査によれば我が国ではアルコール依存症よりもギャンブル依存症が数倍存在することが示されました。あまりにもショッキングなデータで調査方法や診断基準を巡って議論がありました。

そこでのギャンブルはパチンコでした。どの地域でも気楽に遊べるパチンコ店があるのは周知の事実です。法律的にも「賭博」とではなく「遊戯」として位置づけられており制限が緩やかです。皆さんのなかにも競馬・競輪・競艇はギャンブルでも、パチンコは単なる遊びと考える人がほとんどですが、射幸心を得る設定がされておりギャンブル性は高い装置です。諸外国のカジノなど「ギャンブル場」は非日常的なところであり、パチンコは日常に溶け込んでいます。

パチンコ依存はパチンコをする行為の「コントロール障害」ですが、全く仕事もせずにのめり込むタイプは少なく、日常の生活と並行してパチンコにのめり込んでいます。問題が表面化するのはパチンコをするための借金がかさむ、長時間となるために家庭生活をしなくなる、家庭内の葛藤が高まり焦燥感や抑うつ状態となるといった2次的な問題が起こってからです。なかなかパチンコをしてみたい欲求（渴望）や気分高揚、あと先を考えない衝動性に気づくことはありません。日常に溶け込んだギャンブル＝パチンコにより我が国のギャンブル依存症の発生を押し上げていると推測します。

治療や回復への動きも出ています。嗜癖行動として榎原病院でも治療の相談を受けていますし、家族相談は県立こころの健康センターでも行っています。RSNという団体が電話相談も受け付けています。GAという自グループもあります。三重にはありませんがワンデイポートサービスなど回復者施設もあります。



村上
榎原病院
院長

優





看護部長県知事表彰

看護部長 奥田艶子

11月17日に三重県健康福祉看護関係功労賞をいただきました。身に余る光栄です。これも病院職員の皆様と家族のおかげと感謝しています。「仕事を続けてきて良かった」と思っています。ありがとうございました。



こんじわは。専門・認定看護師です
シリーズ 1

●がん化学療法看護認定看護師●

第1回は「がん化学療法看護認定看護師」を紹介します。当院には3名のがん化学療法看護認定看護師が在籍しています。三重県内に20名いますが、1つの病院に3名いるのは当院だけです。私たちは、がん化学療法（抗がん剤治療）を受ける患者様が安全・安楽に治療を受けて頂けるように薬剤や副作用に関しての専門的知識を活かし治療のサポートを行っています。

3人のがん化学療法看護認定看護師を紹介します。

宮崎 紘子：外来所属 3人の中では一番若く、元気いっぱいです。新しいこともどんどん吸収し、精力的に活動してくれています

葛原 三恵：消化器内科・一般内科病棟所属 いつも冷静に判断し、知識のもと薬剤師など多職種と連携を取ってくれます。勉強熱心で頑張り屋さんです。

稻吉 瑠美：呼吸器外科病棟所属 一番お姉さんです。頼れる後輩が2人でき、とても安心しています。

外来で通院治療を受ける患者さまは、治療日以外を自宅で過ごしているため、自宅でどのように副作用のケアをしていくのか、緊急時の対応方法といった身体的側面への援助に加えて、医療者が近くにいない不安や病気と向き合う不安といったなどを心理的側面へも目を向け患者様と関わるようになっています。入院して治療を受ける患者さまは、外来での副作用管理が難しい方、初めて治療を受ける方、体調が悪い方などが対象となります。日々副作用の影響を確認することや、副作用により障害されている日常生活への援助、症状の回復に合わせ副作用ケアの指導を行っています。また、私たちは告知や治療方針が決まるときにも同席させて頂くことがあります。これは、治療を選択していく過程を共に悩み、考え患者様の意思決定を支援する役割も担っているからです。私たちはそれぞれ違う部署で活動していますが、困っていることや改善していくことなどよく話し合いをしています。気になることがありましたら気軽に声をかけてください。

『病気を知り 予防し 生活するための ミエチュウオウ文化祭』を開催いたしました



病院に対する堅いイメージをなくし、地域住民のみなさんと医療者との触れ合いの機会を作ることで、「気軽に訪れることができる病院」、「顔が見える医療」を拡充させていきたい！そんな思いから『病気を知り 予防し 生活するための ミエチュウオウ文化祭』を開催し、今回が第3回目となりました。

秋風の強い天候となりましたが、11月3日（木・祝）、市民公開講座を軸として、各種催し物と融合させ、1200人を超える方にご来場いただき大盛況となりました。

地域医療研修センターでは、市民公開講座「心臓との付き合い方」「糖尿病を本当に知ろう」「おいしく食べる減塩食」の3演題を行い、たくさんの方の聴講者にお越しいただきました。

1Fエントランスホールでは、数々のステージパフォーマンスが開催されました。

当院のスタッフも活動しているよさこい5チームの迫力ある演舞、献血イベントや小学校の1日講師など積極的にボランティア活動をしている名古屋女子大学 スウィートホリックによるストリートダンスを始め、愉快で楽しいイベント空間つくりでお馴染みのピエロのHeyちゃんによるハラハラドキドキのバランス芸が披露され、笑いの絶えないひとときでした。最後にメインステージを盛大に盛り上げてくれたのは、三重県出身で民族楽団シャンチキの主帝であり津軽三味線奏者であるたなかつとむ氏による生演奏でした。

また、今年よりオープンマイク企画として地元松阪むつみ会の皆さんによる民謡をお聴かせいただきました。

ステージ周辺では、久居げんき会の皆さんによる地産の野菜やお米・加工品・雑貨・アート作品の数々・各種飲食も充実し、あわせて計43店舗が軒を連ね、まさに津市久居地区の文化がここに集結しお祭りムードをぐっと盛り上げてくれました。

更に特別企画として、当院の管理栄養士考案のレシピを素材にこだわるCaféナナクリさんがチョイスし、調理・販売！ありそうで無かったコラボが実現いたしました。

2Fでは、当院ACLSチームによる1次救命処置の実技指導もあり、たくさんの方が実践されていました。お子様向け企画もあり、元気なお子様の歓声が最後まで響いていました。

病院でお祭り!?と驚かれた方もおられたでしょうが、たくさんの方々に賛同していただけたことに感謝いたします。

当院の他職種にわたるボランティア活動も大きな財産となっています。

三重中央医療センターは地域医療支援病院です。これまでも、地域の方々の交流の場になってゆくことを目指してまいります。



地域医療連携係長
山本 弥生





読響ハートフルコンサートが開催されました



読響ハートフルコンサートとは、公益財団法人 正力厚生局と読売日本交響楽団が共同で、がん患者の生活の質（QOL）向上の一環として、2007年度から全国のがん診療拠点病院などを周り、弦楽四重奏を行っています。

12月9日15時から当院のエントランスホールにおいても開催されました。当日は患者ら約100名の方がバイオリンやビオラ、チェロによる弦楽四重奏を楽しみました。

コンサートではモーツアルトやジブリ映画のテーマ曲など親しみやすい曲が多く、皆さん聴き入られていきました。アンコールでは、「故郷」を皆で合唱し、楽しいひと時を過ごしました。



■放映時間

(1日4回) 約15分間
9:00~9:15
13:00~13:15
17:00~17:15
21:00~21:15

7月1日より、ケーブルZTVの医療健康番組「食と健康」「おしえて先生」に当院のスタッフが出演しています。
ぜひ、ご覧ください。

●出演予定者

「食と健康」

1月 神経内科………北川医師
2月 内科……………渡邊医師

「おしえて先生」

1月 外科……………信岡医師
2月 歯科口腔外科…柳瀬医師

「クローバー友の会」会員募集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室



会員にご登録いただきありがとうございます。
講演会に参加いただくごとに1スタンプ押印いたします。
(スタンプ数による特典は別途公表いたします。)
特典は変わることがあります。)

■会員登録

住所 _____

氏名 _____

電話 _____



お詫びと訂正

三重中央だより第77号において「医療法人誠仁会 塩川病院 三重ガンマナイフセンター」様の名称を簡略化して掲載するという誤りがありました。関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げ、あらためて今号12ページにおいて、正式な病院名に訂正して掲載させていただきます。

【誤】三重ガンマ → 【正】医療法人誠仁会 塩川病院 三重ガンマナイフセンター

編集
後記

あけましておめでとうございます。今年は酉年です。鶏肉のイメージは、ヘルシーで良質な蛋白源でしょうか。今年は「バランスのいい食生活」が私の抱負です。また酉年は熟成・繁盛の年とも言われます。三重中央医療センターにとって、皆様にとって、良い年になりますように。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
(津)

発行所

三重中央医療センター
院長 霜 坂 辰一

三重県津市久居明神町2158番地5
TEL. 059-259-1211
<http://www.hosp.go.jp/~nmch>

●●● 三重中央医療センター連携医療機関紹介 ●●●●●

医療法人誠仁会 塩川病院 三重ガンマナイフセンター

ホームページ : <http://www.shiokawa-hp.jp/>



ガンマナイフとは、短期間の入院で脳腫瘍、脳動脈奇形、三叉神経痛などを切らずに治す治療装置で、2003年に三重県下唯一のセンターとして塩川病院に開設されました。これまで三重中央医療センターの先生方をはじめ県内外から多くの症例をご紹介いただき、3,000件以上の治療を行ってきました。脳の病気で不安を抱える患者様が多

いため、診察は予約制で、他の治療方法も含めて治療方針について十分相談した上で治療を受けて頂いています。治療後も各科の先生方と連携を取りながら、経過をみて行きます。



センター長：堀 康太郎

住 所：〒513-0844 鈴鹿市平田町1丁目3番7号

電 話：059-378-1417 Fax：059-370-4656

E-mail : gam@shiokawa-hp.jp

診療時間：月：13：00～15：00

火、水、木：15：00～17：00

金：9：00～17：00

※詳しくは病院ホームページをご覧ください。

林耳鼻いんこう科クリニック



当院は津市大門（センターパレス東側）で、父が昭和32年に耳鼻咽喉科医院を開業しました。その後平成5年に同地で新築し、診療を続けています。可能な限り患者さんと同じ目線で丁寧な診療をすべく心掛けております。

精密検査、手術、入院の必要な場合は大学病院、

三重中央医療センターにはご無理を承知で、大変お世話になり感謝しています。

日々、地域医療の窓口となるべく努力してまいります。

今後共、よろしくお願い致します。

院長：林 秀俊

診療科目：耳鼻咽喉科

住 所：〒514-0027 津市大門10-6

電 話：059-224-9900

休 診 日：木曜日・日曜日・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9：00～12：30	○	○	○	△	○	○	△
15：00～18：30	○	○	○	△	○	△	△

※△：土曜日午後は6:00までとなります。



久保耳鼻咽喉科クリニック



当院は平成5年に名張市桔梗が丘で耳鼻咽喉科の診療所として開業し、今年で25年目を迎えました。主として名張市およびその近郊の耳鼻咽喉科1次医療を担っています。

伊賀地区には耳鼻咽喉科の2次医療機関がないため、開業当初より精密検査や入院が必要な症例を多く紹介させて頂きました。また平成15年頃より呼吸器科の先生のご指導の下、睡眠時無呼吸症

候群の患者さんの検査や指導管理も行っています。

私自身、昭和57年より昭和59年にかけて当時の国立津病院に勤務したことがあり、現医長の伊藤由紀子先生のもとで研修させて頂きました。また平成23年からは名賀医師会を代表して貴院の地域医療支援病院運営委員会の委員を務めており、今後も当院および名賀医師会と三重中央医療センターとの連携の推進に努力していきたいと思っています。

院長：久保 将彦

診療科目：耳鼻咽喉科

住所：〒518-0622 名張市桔梗が丘2-1-54

電話：0595-65-7111 FAX：0595-65-8788

休診日：日祝日、木曜日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00 ~ 12:00	○	○	○	/	○	○	/
15:00 ~ 18:30	○	○	○	/	○	○	/

ホームページ：<http://www.akatsuka-clinic.com/>

赤塚クリニック



当クリニックは津市芸濃町で一般内科のほか糖尿病内科・消化器内科の専門医療を提供しています。当院の歴史は1983年に外科医である父親が地元の皆様に恩返しがしたいとの思いで開業したことに始まります。2010年に私が2代目院長となり、現在は親子で診療をしています。

糖尿病などの生活習慣病の治療に力を入れており、栄養指導、外来での糖尿病教育、フットケア、外来インスリン導入も行っています。定期的に糖尿病教室を開き、院内新聞も掲示しています。各種健康診断や、

特定健診・津市がん検診も行っています。異常所見に対する胸部CTや上部・下部消化管内視鏡検査までは院内で対応しています。更なる精密検査、当クリニックで対応できない合併症に対する診療、入院を要する急性疾患などでは、三重中央医療センターや近隣の病院のお世話になっています。



地域の「かかりつけ医」として頼れる存在になれるよう、スタッフ一同全力で取り組んでいきます。

院長：赤塚 元

診療科目：内科、糖尿病内科、消化器内科

住所：〒514-2211 津市芸濃町椋本890番地1

電話：059-265-2511 FAX：059-265-4862

休診日：祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○	○	/
15:00 ~ 18:00	○	○	○	/	○	/	/	/



外来診療担当表

平成29年1月1日現在

診療科名等		月	火	水	木	金	
初診内科 (初診・予約外)	1診	井端 英憲【呼】	大本 恭裕【呼】	中久木 哲也【循】	田中 剛史【糖】	川崎 敦【循】	
	2診	竹内 圭介【消】	三重大学医師【循】	岡野 智仁【呼】	田中 淳子【循】	後藤 浩之【糖】	
	3診	新谷 卓也【循】	倉田 一成【消】	渡邊麻衣子【糖】	渡邊 典子【消】	北出 卓【消】	
	4診	武内 哲史郎【循】	奥田 昌也【糖】	田口 由紀子【消】	西村 正【呼】	内藤 雅大【呼】	
	(整形3診)				吉川 恭子【消】		
再診内科 (再診予約のみ)	呼吸器内科	5診			井端 英憲(午後再診)		
	循環器内科	5診	田中 淳子	川崎 敦	中久木 哲也(午前再診)	武内 哲史郎	
	(整形1診)					北村 政美	
	呼吸器内科	6診		井端 英憲	井端 英憲	大本 恭裕	
	(整形1診)			藤本 源			
	消化器内科	7診	子日 克宣	北出 卓	渡邊 典子	倉田 一成	
	内科	8診	中久木 哲也【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	竹内 圭介	
	9診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】	田中 崇【糖】	田中 剛史【糖】	
	10診		子日 克宣【消】	内藤 雅大【呼】	奥田 昌也【糖】	岡野 智仁【呼】	
	(整形2診)				渡邊麻衣子【糖】		
	ペースメーカーチェック (毎月第1木曜日午後)	ペースメーカーチェック (毎月第1木曜日午前)			ペースメーカーチェック (毎月第1木曜日午前)		
神経内科		1診	北川 長生	北川 長生	北川 長生	北川 長生	
		2診	吉丸 公子	賀川 賢	賀川 賢	吉丸 公子	
		3診	掃部 俊貴		掃部 俊貴		
小児科・新生児科 (初診・再来初診は紹介のみ) (NICUフォロー発達外来は予約のみ)	午前	1診	井戸 正流	NICUフォロー	井戸 正流	田中 滋己	
		2診	*NICUフォロー	*NICUフォロー	発達外来	*NICUフォロー	
		3診	田中 滋己(初診)	田中 滋己(初診)	山本 初実(予約)	井戸 正流(初診)	
		4診	発達外来	発達外来	NICUフォロー	発達外来	
	午後	1診	NICUフォロー	乳児健診・乳児健診(N)	NICUフォロー 大森あゆみ(奇数週) 内園 広匡(偶数週)	田中 滋己 (奇数週、予約)	
		2診	NICUフォロー	2週間・1ヶ月健診	発達外来	NICUフォロー	
		3診	NICUフォロー 大槻 祥一郎 大槻 祥一郎	大槻 祥一郎 (心臓・呼吸器)	山本 初実(予約)	NICUフォロー 大槻 祥一郎(奇数週)	
		4診	発達外来(学童)	NICUフォロー	NICUフォロー	NICUフォロー	
総合診療科					近藤 諭		
外科	1診	湯浅 浩行	谷川 寛自	横井 一	信岡 祐	谷川 寛自	
	2診	横井 一		松田 明敏		湯浅 浩行	
	(泌尿器1診)	信岡(午前)					
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)							
整形外科 (予約・紹介のみ)	1診	田中 雅		田中 雅			
	2診	長倉 剛		中西 巧也		長倉 剛	
	3診	中西 巧也		横山 弘和		横山 弘和	
脳神経外科	1診	石田 藤磨	種村 浩	種村 浩/田中克浩	田中 克浩	石田 藤磨	
	2診	霜坂 辰一	石田 藤磨	霜坂 辰一	種村 浩	田中 克浩	
脊椎・脊髄外科(予約・紹介のみ)							
呼吸器外科							
心臓血管外科							
皮膚科*(予約・紹介のみ)							
泌尿器科	1診		三重大学医師(再診)	中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	
			加藤 雅史	加藤 雅史(初診)	加藤 雅史	加藤 雅史(初診)	
	2診		岩本 陽一(初診) (小児泌尿器)	岩本 陽一	岩本 陽一(初診) (小児泌尿器)	岩本 陽一	
産科・婦人科	午前	1診(初診)	前川 有香	日下 秀人	前田 真	吉村 公一	
		2診(婦人科再診)	前田 真	紀平 力	吉村 公一	紀平 力	
		3診(産科再診)	森下みどり	波多野 芙美	前川 有香	森下みどり	
		4診(助産師外来)			毎日、完全予約制(担当は交代制)		
	午後	1診(産科再診)	前川 有香	日下 秀人	前川 有香	吉村 公一	
		2診(婦人科再診)	澤木 泰仁	紀平 力	吉村 公一	紀平 力	
		3診	助産師外来	産後一ヶ月健診	助産師外来	助産師外来	
眼科							
耳鼻咽喉科							
放射線科(7ブロック)	午前(初診)			伊藤 由紀子	伊藤 由紀子		
	午前(再診予約のみ)						
	午後(再診予約のみ)	伊藤 由紀子	中耳外来		中耳外来		
リハビリテーション科							
歯科・歯科口腔外科							
看護外来(予約のみ)							
がん看護相談外来							
がん看護相談外来							
がん看護相談外来							
がん看護相談外来							

*初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30～11:00までです。 *医師の人事異動・出張等により臨時に代診(休診)となる場合があります。

*当院のような急性期病院は、病棟入院患者様の処置、手術、検査、回診等があり、外来診療に制限を設けなければならない診療科もあることを御理解ください。

不整脈専門外来	肝炎外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精查	ものわすれ外来	乳児健診	予防接種	NICUフォロー
月曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月・火曜日 午前診療	月・火・水・金 午前診療	月・金曜日	火曜日 午後診療	金曜日 午後診療	月・火・木曜日 午前診療
循環器内科(新谷)	消化器内科(竹内)	呼吸器内科	呼吸器内科	神経内科(吉丸)		新生児科	新生児科(盆野)
未破裂脳動脈瘤の相談 要予約(自費)	脊椎・脊髄外科専門 (紹介)	肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・膿胸	中耳外来 (予約)	プレママ外来	おっぱい外来 (予約)	発達外来	緩和ケア外来 (要予約)
金曜日 午前診療	火曜日 (10時～14時)	火・木・金 午前診療	火・木曜日 午後診療	月・木曜日午後 火曜日午前診療	月・木曜日 午前診療	月・水・木曜日 診療	金曜日 午後診療
脳神経外科(石田)	脊椎・脊髄外科(水野)	呼吸器外科	耳鼻咽喉科(伊藤)		産科・婦人科	小児科(山川)	外科(谷川)